

平成28年度第1回新名取市図書館施設整備検討委員会議事録

会議名	第1回 新名取市図書館施設整備検討委員会	
日時	平成29年9月8日(木) 14時00分～15時25分	
場所	名取市図書館 南館	
出席者 【12名】	委員7名	早川光彦、天間環、板橋正春、三塚玲子、下澤なおみ 長沼明子、大野千晴
	アドバイザー	岡本真
	事務局4名	生涯学習課 佐々木賢一課長補佐 図書館 柴崎悦子館長、加藤孔敬司書、石川雅一主査
欠席者	委員2名	佐伯幹子、志賀保史
傍聴者	なし	

## 1 開 会

### ◎事務局

平成28年度第1回新名取市図書館施設整備検討委員会を始めてまいります。

まず、会議成立の確認をします。名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により公開の対象となります。

また会議録につきましては、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条の規定により、市政情報コーナーで会議を開催した日が属する年度の翌年度の4月1日から起算して3年間、閲覧に供される他、インターネット上、市のホームページに1年間公開されます。公開時の名前は、名字 ○○委員と表記されますのでご承知願います。

それでは開会に当たりまして、あいさつを早川委員長にお願いしたいと思います。

## 2 あいさつ

### ◎早川委員長

委員の皆様、お久しぶりです。今年度もよろしく申し上げます。

新図書館については順調に進んでいると考えていましたが、今回の議題からしても具体的な段階になってきていると考えております。

宮城県内では、最近多賀城駅前に新しい図書館がオープンしました。私も見てきましたが、準備の過程や市民に対するアナウンスは名取市とはまた違ったやり方でオープンを迎えました。名取市はこの委員会が全て公開されていますし、市民の方と喜びを共有しながら新図書館のオープンを迎えられるよう個人的にも楽しみにしているところです。市民の方、より多くの方に待たれてオープンするという図書館を目指し、かつ寄せられた期待に応えられる図書館の実現に向けて、委員会としてもそういう方向を目指していければいいのかなと考えております。

今日の議題についても皆さんの忌憚の無いご意見を頂戴したいと思っております。以上でごあいさつとさせていただきます。

#### ◎事務局

はい、ありがとうございました。それでは議事に入ります。

### 3 議事

#### (1) 新図書館の休館日・開館時間について

#### ◎事務局

設置要綱第5条により議事の進行を早川委員長にお願いします。

#### ◎早川委員長

それでは議事に移ります。配られております資料について、事務局から説明をお願いいたします。

#### ◎柴崎館長

このような悪天候の中、お越しいただきましてありがとうございます。前回から8ヶ月経っており、進捗状況についてご心配されていた方もいらっしゃるかと思いますが、おかげさまで昨年度中には館内のレイアウトを固めることができました。今年度は3回の開催予定で、主にサービスのことについて皆様のご意見を頂きたいと思っております。では説明に移ります。

新図書館整備基本計画の中に、開館時間は平日の午前10時から午後8時まで、土日は午前10時から午後6時まで、祝日開館の実施、休館日は月曜日・館内整理日(月1回)、特別整理期間連続5日間とあり、これは最低限守るラインということで書いてあります。

新しい図書館は駅前にできること、ICタグを導入すること等から、どういう開館時間・休館日を設定したら利用者にとって使い勝手の良い図書館になるのか検討したところ、資料に書いてあるようになりました。

休館日について説明しますと、休館日は毎週月曜日で月曜日が休日の場合は翌日以降の休日ではない日となります。

それから特別整理期間、これは今まで蔵書点検期間と呼んでいたものですが、年に3日程度取ります。

年末年始の休みですが、今の規則上では12月28日から1月4日となっておりますが、12月29日から1月3日にしたいと考えています。

次に開館時間ですが、火曜日から金曜日は午前7時30分から午後8時30分までで、

午前7時30分から午前9時までの間と午後7時から午後8時30分までの間について、カウンターは無人閉鎖し、自動貸出機・自動返却機のみ利用可とし、利用できるエリアはカフェ及び新聞雑誌コーナーエリアのみとしたいと考えています。

それから土・日・祝日に関しましては、午前7時30分から午後6時とし、同様に午前7時30分から午前9時までの間と午後7時から午後8時30分までの間について、カウンターは無人閉鎖し、自動貸出機・自動返却機のみ利用可とし、利用できるエリアはカフェ及び新聞雑誌コーナーエリアのみとしたいと考えています。その利用できるエリアについてですが、2階平面図の資料のピンクで囲んであるエリアになります。ピンクのエリア以外は朝の時間帯は人が入れないように区切ります。

またカウンター脇にある奥まったコーナーは予約資料を置いておく棚であり、そこでは予約の本がある人は自分で取って自動貸出機で手続きをして借りることができます。

駅前の図書館なので、カフェでコーヒーを飲みながら、新聞を読んでから出勤するというスタイルの提供もできるのではないかと考えております。

次の資料をご覧ください。県内の図書館及び名取市に縁のある図書館、それから東北の図書館、生涯学習施設と複合されている施設を例として挙げています。

どこもどんなに早くても朝は9時からで、大抵は10時から開館というところが多いのですが、名取市図書館はあえて早朝開館をしたいと考えています。図書館でモーニングしているところはあまり聞いたことがなく、これは名取市図書館の売りになるのではないかと考えています。休館日や開館日についてのご意見を頂戴できればと思いますので、よろしく申し上げます。

## ◎早川委員長

はい、ありがとうございました。では委員の皆様から確認を含めご意見を頂戴したいと思います。その前に岡本さんに聞きたいのですが、朝早くから開館している図書館はありますか。

## ◎岡本アドバイザー

一部の特殊なケースを除くと7時半開館は比較的早い方だと思います。一部の特殊なケースというのは24時間開館を謳っているところですが、これは小さな町や村といったお互いが信頼し合えるような関係性を築いている地域にある図書館のことです。ただしかなり特殊例でありあまり参考にならないと思います。

7時30分より早い図書館としては、私も建設に関わりました富山市立図書館になります。こちらは1階の情報フロアが7時から開館しています。ただしロビーのような場所が開放されているだけで、新聞と一部雑誌が置いてあるような形です。比較的富山市の街中の中心部にありますし、富山市長の強い意向もあり、通勤してくる人たちが少し時

間を過ごせるような場所にしたらいいのではないかとということで始めています。先月開館 1 周年ということで訪問してきましたが、まあまあ使われているという話でした。実際には街中といっても通勤の人が通るというわけではなく、どちらかというと駅前にも図書館があり朝早くから開館しているのですが、そちらのほうが通勤前のビジネスマンや登校前の学生さんたちにかかり使われているようです。

ですから朝 7 時半開館というのは早いように見えますが、良い時間帯だと思います。ちょっと早めに家を出て登校前に勉強するとか、最近増えています。働いている方で朝の時間を有効活用して自分のキャリアのために勉強しようとしている人が、仙台に行く前に利用するという使われ方が見込めるのではないかと思います。

#### ◎早川委員長

はい、ありがとうございます。では委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。

#### ◎板橋委員

朝 7 時 30 分から 9 時までのエリアは図面の赤く囲われている部分ですか。

#### ◎柴崎館長

そうです。そして 9 時から午後 7 時までカウンターを開けて貸出しやレファレンスを受けられるようになります。職員のシフトは 2 交代制で、朝と夜は当番制およびアルバイトを入れることによって対応が可能ではないかと考えています。

#### ◎板橋委員

夜の時間帯は全館利用できるのでしょうか。

#### ◎柴崎館長

全館利用できます。ただし、カウンターを使った貸出しや返却、レファレンスサービスは行わず自動貸出機・返却機の利用のみという使い方になります。3 階の学習室は午後 8 時 30 分までは利用が可能ですので、社会人や学生さん達はそこで勉強できるというようになります。

#### ◎早川委員長

確認ですが、平日については午前 7 時 30 分から 9 時までは図面の赤いエリアのみ出入りができ、新聞・雑誌、自動貸出機、自動返却機のみ利用が可能です。夜は午後 7 時から 8 時 30 分までは赤いエリアのみではなく全館出入りができ、朝と同様、自動貸出機、自動返却機の利用で、土・日・祝日は職員が午後 6 時閉館まで対応するという事によろし

いでしょうか。

◎柴崎館長

そのとおりです。

◎早川委員長

平日は資料相談等のサービスも午後 7 時で終了するということですね。

◎柴崎館長

はい、午後 7 時から 8 時 30 分まではカウンターは無人になります。

◎早川委員長

その時間帯は人的サービスが終了しマシンに切り替わるということですね。

◎岡本アドバイザー

使い方を考えると便利だと思います。富山の例とは違って予約した資料を受け取るコーナーがありますので、例えば名取駅を利用する方が出勤前や登校前に図書館に寄って、前日のうちに図書館で用意できた資料を手にとって出かけることができます。仙台等へ通学している学生さん方にはとても便利になると思います。これまでの開館時間では早めに帰ってこなければならなかったでしょうが、開館時間が長くなることで画期的に便利になりますし、予約棚がありかつこれだけ早くから開館している図書館はあまりありませんので、名取の独特で非常に良いサービスになると考えます。

◎板橋委員

朝の時間帯、カウンターが無人とはいっても、館内に職員はいるのですよね。

◎柴崎館長

はい、正規職員、嘱託職員、アルバイトさんで 4 人程度入れたいと考えています。業務内容は、新聞の準備や返却本の事務処理・配架作業を想定しています。

◎板橋委員

自動貸出機は慣れないとなかなか利用できない方もいらっしゃると思います。説明が必要な場合は職員が対応するようになりますよね。

◎柴崎館長

職員はカウンターには座りませんが赤いエリアにいて、困っている人の手助けができる体制をつくるつもりでいます。

### ◎大野委員

2 交代制で朝早くから職員の皆さんやアルバイトさんが出勤して開館するという  
ことで、使い勝手の良い図書館になりそうでとてもうれしく思います。ありがとうございます。

### ◎長沼委員

今私も仕事しておりますから、夜の 8 時半まで開館するというのはとても助かる時間  
だなど、仕事が終わってから好きな本を読むというのはなかなかできませんでしたので、  
すごくいいなと思いました。

### ◎岡本アドバイザー

夜 8 時半というのは妥当なところだと思います。あまり遅くまでなりすぎるのもどう  
かということがあります。有名な武雄市の図書館は夜 10 時まで開館していますが、街中  
に明かりがそんなにある町でないのに、子どもたちがその図書館を利用するため出歩い  
ているわけですが、この町として本当にそれが正しい姿なのだろうかとは私は思います。

17 時閉館では早いですし、19 時でも仙台からお勤めで帰ってこられる方にとっては  
ぎりぎりの時間でしょうから微妙なところではあります。そういう意味では丁度良い時間で、職  
員にももちろん生活はありますが、仮に市内にお住まいとして帰りが夜 9 時ぐらいであ  
れば家庭生活にもそこまで負担にならないのではないかと考えます。

### ◎早川委員長

では、委員の皆様よりご意見をお願いします。

### ◎下澤委員

この時間帯には本当に驚きまして画期的だなどと思いました。職員の方々のことを考え  
ると開館時間の延長はなかなか難しいのかなと思っていましたが、このような時間帯の  
提案をしていただきありがたいと思っています。

### ◎三塚委員

予約というのは前日までの予約の本のことだと思いますが、予約するためには電話で  
はできないのですよね。図書館に行って予約票に書くようになるわけですよね。

### ◎柴崎館長

今行っているサービスがそのままできるか、といった具体的なことについてはこれか  
ら検討していくことになります。

### ◎天馬委員

土・日・祝日で多くの図書館は17時までとなっており、名取市では色々な状況を考えて18時とするようですが、19時まで延ばすことはできないでしょうか。

#### ◎柴崎館長

これを皆さんにお示しする前にシミュレーションでシフトをつくってみました。今と同じやり方ですと平日の半分の職員数になります。そうしますと19時までというのは難しいというのが現状です。基本的に土・日のどちらかを職員には休ませてあげたいということがありますので、2交代制では18時というのがぎりぎりのところかなと思っています。

#### ◎三塚委員

同じ職員数で運営するのでしょうか。

#### ◎柴崎館長

同じ職員数ではこのサービスは提供できませんので、今後職員を増やしてもらうよう要請していくようになります。

#### ◎岡本アドバイザー

この点は皆さんのご理解をいただきたいところですが、端的に言えば人件費が増えるということになります。ただここは私としても非常に重要なポイントだと思っていて、建物ばかりでなく人の方へも手当しないと、新図書館ができてから数年もすると大変みすばらしい図書館になり下がってしまいます。ですからせっかくつくるのだからこそ、ある種仏様の目を入れるかのごとく、多大な建設費を無駄にせず活かすためにも人の手当てをすることは重要になります。これは当然ながら皆様の税金が使われることになり、昨今の情勢の中で公務員が増えるということに対するご意見をあるとは思いますが、きちんとスタッフがいれば市民の皆様にとっては使いやすい施設に必ずなりますので、ぜひともご理解をいただけるとうれしいなと思います。

それと18時から19時へ延ばせないかというご意見がありましたが、条例において定められるようになります。簡単に変えられるものではありませんが、その一方絶対に変えられないものでもありませんので、当分の間は18時として様子を見ていくというスタンスでよろしいのかなと思います。18時から19時へ変えて大きく変わるかという、私の経験からでは何ともいえないところです。名取市民のライフスタイルとして、土・日・祝日の過ごし方が19時ごろまで図書館に居たいと言う流れが強い場合は、図書館協議会等で協議して開館時間を延ばすような条例改正を議会にお願いするというようになると考えられます。

それとどうしても図書館は伝統的に女性が多く働く職場ですので、19時には家に帰って夕食の席に居たいというのがあるのではないかと思います。そこはやはり健全な家庭生活あってこそ外で働けるということがありますので大切にされた方が良いと思います。

まずはこれで始めてみて、不都合や改善点があれば適宜見直しをかけていき、弾力的な運用を心掛けていけば良いのかなと思います。

#### ◎早川委員長

岡本アドバイザーのおっしゃるように、開館・閉館時間については柔軟に対応することが重要だと思います。教育委員会の規則で決めているのであれば、より柔軟に対応できると思われます。

それと私の経験上、金曜日の夜と土曜日の夜は結構利用者が多い時間帯になると予想されます。特に土曜日お休みの方が多いので金曜日の夜の利用は多かったのですが、職員の資料相談等がこの時間帯に行われないうところが課題になるのではないかと思います。金曜日の夜はビジネスマンも含めて、より多くの人が入ってくるだろうと推測できますので、もう少し細かな人員体制とサービス体制の検討を加えていく必要があるかと考えます。

#### ◎柴崎館長

全国の図書館を見ても、曜日によって開館時間が違っているという例はありますので、早川委員長のご意見を参考にしながらこれから細かいところの検討を重ねていきたいと思っています。

#### ◎早川委員長

それと貸出サービスがマシンに切り替わった時は、利用者に対し次に使うときは自分でできるようになるぐらい、より丁寧で分かりやすいご案内を心掛けていただくようお願いします。

#### ◎板橋委員

特別整理期間は3日間で大丈夫でしょうか。

#### ◎柴崎委員長

はい、年に連続して3日間の特別整理期間を設けたいと考えています。新しくICタグを導入するわけですが、ICタグの種類にはHF帯とUHF帯という大きく2種類ありまして、名取市図書館ではUHF帯タグの導入を検討しているところです。UHF帯タグというのは蔵書点検にものすごく威力を発揮し、短い時間でたくさんの本を点検できるというものです。この間蔵書だけではなく図書館内のいろいろな整理作業も含めて行うつ

もりですので、3日間という期間で考えました。

ちなみに岩沼市の図書館も点検期間は3日間となっております。

### ◎岡本アドバイザー

休館日についてですが、市民の方からすると月曜日開館の方がよろしいでしょうが、これをしてしまうと最大の課題が、職員が一同に集まって研修する機会が無くなってしまいます。これはかなり問題でして、図書館の勤務体制上、職員同士が顔を合わせないことも考えられます。また名取の場合は学校図書館で働いている職員もいるわけで、そういう職員が定期的集り課題を話し合っって組織として問題解決するための時間が非常に重要になります。市民の目線からはなかなか気づきにくい部分ですが、ここを怠るとじわじわと疲弊していき、最終的には市民サービスの低下につながっていきますので、月曜日の休館はご理解いただきたいと思います。

宮城県内の図書館は比較的月曜日休館が多く、結果宮城県教育委員会が開催する全市町村対象の研修会が月曜日に行われる場合があります。そうなりますとやはりみんなで月曜日に休んでいますと、みんなで研修に参加できるという良さがあります。休館日は図書館職員は休んでいるかのように思われがちですが、場合によっては普段よりも忙しい日であるということをご理解いただきたいと思います。

それと全般的には休館日が少ない方の図書館といえます。中には月1日しか休まない図書館もありますが、いくら市民サービスとはいえ行き過ぎではないかと思えます。職員の生活があることも念頭に置きながらの休館日の設定は、名取らしいやり方として良いのではないかと私は思います。

### ◎早川委員長

はい、ありがとうございます。世界に目を向けますと、日本の図書館の開館時間は世界でおそらく一番か二番に長いです。アメリカの図書館は、土曜日の夜遅くまで開館している分、いまだに日曜日閉館しているところが非常に多いです。名取の事情に沿った開館というのが望ましいと思います。開館すれば想定していなかった使われ方や要望も出てくるでしょうし、その場合は柔軟に対応していけるようにすることが大事です。そのためには岡本さんがおっしゃったように、職員が休むべき時にきちんと休みを取って研修をできるような体制を取っていないと、時代の要請に応えられなくなってしまいます。そのためには職員は勉強し続けなければなりませんので、そういう時間をきちんと確保しておいてほしいと思います。

ではこの議題についてはよろしいでしょうか。特に無いようですので次の議題に移ります。

## (2) 読書通帳について

### ◎早川委員長

では次に(2)読書通帳について、事務局より説明をお願いします。

### ◎柴崎館長

読書通帳についてですが、最近県内では多賀城市の図書館が読書通帳機を導入したということで話題になっています。名取市図書館でも読書通帳機を新館で導入したいと考え、昨年度みなさんに検討していただいたレイアウト図の中に場所まで入れていました。

読書通帳というのは、通帳の形をしたものに借りた本の名前や貸出日といったように、自分がどんな本を借りていたのか、後から見るように記録するためのものになります。これは図書館システムに連動しており、借りた後に読書通帳を機会を通して印字させるようになります。昔の履歴は図書館には残っていませんので、貸出しして返すまでの間に機械を通して印字するというものですが、この通帳と同じ働きをするものとして、岩沼で導入しておりますお薬手帳のようなもので、借りた本の名前、日付をシールに印刷して手帳に貼るといったものです。手帳は何でもよいのですが、いずれにしても自分が今までどんな本を借りたのかが分かりますので、読書意欲を高める利点があるということで、いろいろな図書館で導入しています。

通帳がよいのか手帳がよいのか、図書館としては必ずしも通帳の形にこだわらず、好きな手帳やノートに貼ってオリジナルの読書記録ノートをつくれる、余白にコメントを書き込めるような、いろいろなアイデアで使える手帳タイプの方が良いのではないかと館内で検討してきましたが、皆さんのご意見をお伺いできればと思ひまして、提案しました。

### ◎早川委員長

市議会からも聞かれていると聞きましたが。

### ◎柴崎館長

今9月議会が始まっておりますが、今回の一般質問で読書通帳機の導入について検討すべきという質問が出ております。ただ今回に限ったことではなく、以前も今のシステムに入れられないかという質問が出されたが、その時点では難しいため手作りの手帳を子どもたちに渡して読書意欲を高めてもらいたいという回答をしました。今のところは、子ども読書週間の期間中に職員が手作りしたノートを子どもたちにプレゼントしているという状況です。

### ◎早川委員長

それではご意見をお願いします。

◎板橋委員

手帳も機械に入れればよいのでしょうか。

◎柴崎館長

通帳の方は全く銀行の預金通帳と同じで機械に入れれば印字されます。通帳には利用者の情報が書き込まれた IC タグが貼ってあります。

手帳の方はレシートを貼るような考えになります。

◎板橋委員

なるべく費用がかからないようにすべきだと考えます。手帳の場合シール代がかかったり手間がかかったりしませんか。

◎柴崎館長

手間はどちらもそれほど変わりません。手帳の手間として、印字されたシールを剥がして貼る手間が増える程度です。導入している岩沼に聞きに行ったところ、子どもたちに限っていえば、子どもたちはシールが好きなので剥がしてノートに貼っているということも聞いております。

◎板橋委員

やはり費用があまりかからない方がよいと思います。

◎大野委員

特に小さいうちに読書週間を身につけるためには、そのシステムはとてもいいと思います。私たちのころは、全部自分のカードに借りたものが手書きで記載されていたと記憶していますが、特に小さい子にとっては思い出になるのではないかと思います。

これは全員持ちなさいというものではないわけですね。

◎柴崎館長

強制ではなく希望者のみで、子どもに限らず大人の方にも対応したいと考えています。図書館の貸出し履歴は残りませんので、前の履歴が欲しいという要望がよくあります。以前はレシートを発行しておりそれを利用してオリジナルの記録ノートをつくっていた方がいましたが、図書館の利用者カードがリライト式に変わったことに伴いレシートの発行が無くなりました。以前のレシートと同じ考え方がこの手帳になります。

### ◎三塚委員

大人も使えるのでしょうか。

### ◎柴崎館長

もちろんです。図書館によって本当にいろいろですが、子どもにだけプレゼントして大人には100円や300円というように有料で買ってもらうところもありますし、岩沼では大人にも無料で開館記念につくった手帳を配っているということです。デザインが気に入らなければ、自分の好きなものに貼るというのもよいと思います。それぞれいろいろな使い方があり良い点があります。

### ◎三塚委員

一種の楽しみですね。大人でも楽しめそうなので、子どもはもっと楽しんでより多くの本を借りるかもしれないですね。これは通年なののでしょうか、期間限定なののでしょうか。

### ◎岡本アドバイザー

補足になりますが、履歴を図書館が残さないというのは、図書館としては非常に重要なポイントになります。つまり誰が何を借りているのかということ、第三者が知るとは時として大変望ましくないことがあります。

例えば円満に見えるご夫婦の片方が、離婚の仕方に関する本を借りていることが近隣に知られてしまったら大問題になってしまうでしょうし、大会社の社長が癌になってから読む本を借りていることが分かったら、一気に信用不安になって会社が倒産しかねないわけです。

要するに思想調査に使えてしまうこと、また時として警察がそういう資料を求めることがあるということです。

図書館としてはそういうことを許してしまうと、図書館が使われなくなってしまいかねず、これは、戦前の経緯に基づく強い反省があって日本の図書館は基本的には履歴は残さないようになっていきます。ですからほとんどのシステムは返却処理をした瞬間にデータが消えるように配慮されています。

ただ一方でご自身の履歴を見たいと言う方もいらっしゃいます。このような説明がなかなかできないのと、ご納得いただけないケースがあります。そう意味ではこういうものがあると、ある種サービスの向上になるのと、図書館としてはどうにも説明つかないことについての対応の仕方を手に入れられるということになります。

### ◎大野委員

今話を伺って、私はシールタイプの方がよろしいのではないかと思います。ちゃん

と読んだ本としてシールは貼りたい場合と、そうではない場合が考えられ、シールの方が全部履歴を残すのではなく選択して残せる余地があると考えます。通帳はこの規格に合ったものでないと使えないわけですよね。名前が読書通帳になるか読書手帳になるかは別にして、シールタイプのものであれば自分の好きな手帳に貼っていただくことができますし、印字タイプですと最初に通帳を図書館側で用意する必要があると思いますが、その在庫を抱えなくて済むというメリットもあるのではないのでしょうか。そういう意味で、私はシール方式を推します。

#### ◎板橋委員

シール代は誰が払うのですか。

#### ◎柴崎館長

図書館で用立てますので、利用者は無料となります。通帳そのものは結構高いものになります。大抵大人の方には有料でお渡ししているところが多いです。

一方シール式の岩沼では、開館記念につくった手帳を無料で配布したようですが、まだ在庫が余っているということでした。

#### ◎岡本アドバイザー

ちなみにこの通帳タイプは出てからまだ10年経っていませんが、非常に注目されています。分かりやすくいえば、図書館の利用者が増え、貸出冊数も増えるといわれていますがなかなか効果測定は難しいです。これは下関の新しい図書館で導入した際に有名になったのですが、新図書館になれば当然利用者が増える中で、読書通帳機があるから人が増えたのかということと分からないわけです。

コンサルタントとして読書通帳機の導入を考えているところはよく議論していただくようにしていますが、後年次の運用費用を自治体が負担し続けることができるかということになります。導入すれば子どもたちは本当に本をよく読むようになりますが、ランニングコストを考えると慎重に検討した方がよいと思われまます。

予算が無くなったからやめますというのでは、楽しみにしていたお子さん方からすればどうなのかなということがありますので。

ちなみに読書通帳という言葉そのものは、最初に開発したメーカーさんがすでに商標登録しています。そのメーカーを採用しないのであれば別の言い方をつくる必要があります。

#### ◎早川委員長

私は板橋委員と大野委員のご意見は非常に貴重なご意見、ご指摘だと思います。

まず板橋委員がおっしゃるように、金がかからず持続可能な方法でやるべきであって、読書の記録を個人の楽しみとして残すというサービスとして捉えることが重要ではないかと考えます。

それと大野委員がおっしゃった、自分で選択できるという点も重要です。岡本さんが説明しましたように、使い方を誤ると大変なことになりかねません。全ての子どもたちに配って読書を競わせるような使い方はあってはならないことだと考えています。

名取のようにこのような場で問題点を捉えれば、きちんとした運営がなされると思います。岡本さんのおっしゃるように基本的には読書の記録を残しても、貸出しの増にはつながらないと考えられますが、付加価値として振り返って自分の読書記録を見たらその当時の記憶がよみがえってくるということができれば素敵だなと思います。

#### ◎柴崎館長

ありがとうございます。今日いただいた貴重なご意見を参考に、今後検討を重ねてどちらにするか決めてまいりたいと思います。

#### ◎早川委員長

では続いて（3）へ移ります。

### （3）防犯カメラについて

#### ◎早川委員長

事務局から説明をお願いします。

#### ◎柴崎館長

新図書館整備基本計画の中の危機管理というところで防犯カメラの設置について検討すると書いてあります。昨今図書館でもいろいろな犯罪が報道されておりまして、図書館の危機管理という面からも設置したいと考えております。ただプライバシーの問題もありますので、とても迷っているところであります。

先ほども申し上げましたように、新図書館では職員数が少ない時間帯がありますので防犯カメラを設置すべきではないかと考えていますが、皆様からご意見をいただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

#### ◎早川委員長

それでは委員の皆様からご意見ををお願いします。

#### ◎大野委員

天間先生に伺いたいのですが、大きな施設での効果のような事例を教えてください。

#### ◎天間副委員長

防犯カメラをどういうところに取り付けるかという議論はあるかと思いますが、公共の場ですから私は必要だと思います。尚絅学院大学の図書館にも防犯カメラがあって画面が4つ5つ程度並んでおります。

#### ◎岡本アドバイザー

カメラの仕様としては、管理側である事務室で常時映像を確認できるものでしょうか。

#### ◎柴崎館長

具体的なところはまだ決めておりませんが、事務室にモニターがあってカメラの数だけ映像が常時映っているイメージです。

#### ◎岡本アドバイザー

カメラのタイプはいくつかあるのですが、録画だけしておいてモニターには映さないものもあります。これはマンションに多いタイプです。公共施設ですと館長がおっしゃったタイプで、事務室にモニターがあってリアルタイムで一応チェックできるようになっています。

#### ◎早川委員長

私のいた図書館にも防犯カメラはありまして、事務室ではなくバックヤード、いわゆる作業スペースに液晶で映し録画していました。実際に画面を観ている時間はありませんが、第一に利用者の安全を確保するという視点で使っておりました。防犯カメラの活躍が無いことが望ましいのですが、駅前立地で平日でもおそらく2千人近くの入出があるだろうと予想されます。きわめて個人的な営みである読書に関しては一切記録しないという形で運営していました。

南相馬の図書館では様々な事件といえることが起きました。守衛の方に制服を着て巡回していただいたこともありました。駐在所、交番にお願いして館内を回っていただいたこともありました。

#### ◎板橋委員

これは盗難防止というよりは防犯という観点になるのでしょうかね。

#### ◎柴崎館長

防犯になります。盗難対策としては盗難防止ゲートがあります

## ◎板橋委員

常時観ていることはできるのかといえば難しいですね。

## ◎早川委員長

南相馬で危機管理の研修で警察署の担当課長さんをお呼びして講演を聴いたことがあるのですが、一番犯罪が起りやすい形をした建物は、誰でも自由に入出入りできてどこに誰がいるか分かりづらい施設であるということでした。南相馬の図書館はまさにそのもので利用者の9割が職員の視野から消えてしまいます。それは利用者の自由度を優先させた設計なわけです。お一人お一人が気に入った空間を見つけて余計な視線を感じないで使える図書館にしていこう、一日に2千人が入ってきても入り込んでいるように見えない図書館というのが設計者の設計思想にありましたのでそのとおりになったわけです。では利用者の安全が守られるのかということについては、管理責任が問われますので、職員の定期的な見回りと防犯カメラで対応したわけです。

いろいろありましたが、いっしょに交番へご同行したこともあります。今は決してめずらしくないことです。とにかく我々がすぐ動くのは他の利用者に危険が及ばないようにすることです。

## ◎下澤委員

やはり防犯カメラは設置すべきだと思います。

## ◎岡本アドバイザー

読書通帳の問題と同じことですが、誰が図書館を利用しているのかということ第三者に決して伝えてはならないということになります。一定期間録画したものを保存しておくのかしないのか、大概の施設は一定期間残しますが、マンションの場合は一週間程度残していますし、今は記録媒体の価格が安くなっていますので、長期保存が可能となっています。記録は残せば残すほど、対盗難の力を持つようになりますが、それを警察へ提供してよいかという議論もあります。

昨年明治大学の図書館で学生同士による盗難が発生しました。警察に対して大学がビデオ提供したのですが、これがかなり大問題になりました。本来警察に頼らない、学問の自由といった部分がありますので、あまつさえ自分たちの学生を警察へ売り渡すかのようにしたので、東京の方ではかなり議論になったのですが、このようなところも議論しておいた方がよいかと思います。

ただそれでもトータルでは防犯カメラは設置した方がよいと思います。様々な方がいらっしゃるのではちょっとした行き違いから発展する場合がありますし、最近駅前関係で

多いのが職員への暴力ですね。先日二本松で利用者が暴れて職員が怪我する事件がありました。そういうところも踏まえて抑止効果を考えておくべきでしょうね。比較的大規模施設でフロア数が増えて見えない場所がありますと、バックヤードに画面をつけて確認できるようにしておくというのは、瞬時に何が起きているか把握できるという点で震災の時に役に立ったようです。

さらにいうと新設する施設で付けていない施設は無いと思います。後から付けるとなるととても大変なので、付ける時に付けるしかないというのが実情だと思います。

#### ◎早川委員長

プライバシーの点については、名取は職員がしっかり研修しているでしょうから、第三者に一切提供しないしお答えもしないと思います。

他にご意見が無いようですので（４）その他へ移ります。

#### （４）その他

#### ◎早川委員長

では（４）その他ですが、質問や確認等ありましたらお願いします。

#### ◎三塚委員

駐車場のことですが、以前の検討会で駅の西側に市の所有地があるとのことでしたが、最近その場所に建物が建っているようです。

#### ◎柴崎館長

その土地は、再開発事業で道路をつくる際の立ち退かなければならなかった人への移転補償になりましたので、駐車場としては使えなくなりました。

駐車場については、これからも検討を重ねていきたいと考えています。

#### ◎三塚委員

ぜひお願いしたいと思います。

#### ◎早川委員長

駅前にできる図書館の駐車場については、経験上一番お叱りを受けることになると思います。南相馬でも毎日のようにお叱りを受けました。駅前というのは、便利になり市民の皆さんが集まりやすくなる一方、駐車場の確保は市として大変苦勞されていることかなと思います。

他に確認したいこと等はありませんか。

◎大野委員

着工と完成時期はいつごろになるのでしょうか。

◎柴崎館長

今まで住んでいらっしゃる方の家の解体工事が今月から始まり 11 月ごろから造成工事の着工となり、平成 30 年の 6 月末に建物完成と聞いております。図書館の場合、さらに引越し及びシステム調整期間が必要になりますので、おそらく開館は平成 30 年の 9 月から 10 月ごろを予定しています。

◎三塚委員

多賀城の図書館のように、児童コーナーに絵本作家さんの絵を描いてもらいたいと思うのですが、いかがでしょうか。

◎柴崎館長

多賀城の図書館のように壁面いっぱい使って絵を描ける場所はありませんが、確かに有名な絵本作家さんの絵があると子どもたちも喜びますし、絵本をもっと読んでみたいという気持ちにつながるかと思いますので、何かしら実現できるよう努力してまいりたいと思います。

◎早川委員長

その他ありませんか。無いようですので、本日の議題（1）から（4）は以上とさせていただきます。ありがとうございました。事務局に進行をお渡しいたします。

◎事務局

それでは以上をもちまして本日の検討委員会を終了しますが、天間副委員長に閉会のごあいさつをお願いしたいと思います。

◎天間副委員長

大変風雨が強くなりました。そういう中での熱心な議論、大変ごくろうさまでした。特に開館時間が午前 7 時半というのは画期的な試みで、今からとても期待しています。簡単なあいさつですが、どうぞ気をつけてお帰りください。以上です。

◎事務局

以上をもちまして本日は終了します。ありがとうございました。